**トランプ登場**

２０１７年１月２０日、

第45代（第58期）の大統領誕生も間近（マジか？）

この2017年を百年単位で振り返る。

今なら、たった一行の歴史事象も、

当時は、驚天動地の大事件であった。

|  |  |
| --- | --- |
| ２０１７（平成２９） | トランプ大統領就任 |
| １９１７（大正６） | ロシア革命ドイツが「無制限潜水艦作戦」を宣言米国が連合国側として、ドイツに宣戦布告 |
| １８１７（文化１４） | 「モンロー・ドクトリン」James Monroe　米国第５代大統領就任　　　　　　　　　　　　　　　リカルド「経済学原理」刊行 |
| １７１７（享保２） | 大岡忠相　町奉行に就任　異例の能吏であった |
| １６１７（元和２） | 鳥取藩町人　日本海に浮かぶ「竹島」発見 |
| １５１７（永正１４） | ルター　９５か条のテーゼ |
| １４１７（応永２４） | [カトリック教会](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%88%E3%83%AA%E3%83%83%E3%82%AF%E6%95%99%E4%BC%9A)、[コンスタンツ公会議](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%83%84%E5%85%AC%E4%BC%9A%E8%AD%B0)で[1378年](https://ja.wikipedia.org/wiki/1378%E5%B9%B4)から続いた[教会大分裂](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%95%99%E4%BC%9A%E5%A4%A7%E5%88%86%E8%A3%82)（[シスマ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%9E)Schisma）を収拾 |
| １３１７（文保元） | 鎌倉幕府が、皇位を両統迭立にすることを提案する（[文保の御和談](https://enpedia.rxy.jp/w/index.php?title=%E6%96%87%E4%BF%9D%E3%81%AE%E5%BE%A1%E5%92%8C%E8%AB%87&action=edit&redlink=1)） |
| １２１７（健保５） | 実朝　渡宋断念　宋より渡来船沈没のため　 |
| １１１７（永久５） | 春日神人　興福寺衆徒と闘争 |
| １０１７（寛仁元） | 藤原道長　太政大臣就任信長・秀吉・家康の悪所を持つ人物だが、ただ、背景とする「武力」はなかった？諸官位を詐称し、皇統に直接介入し、悪事数多。 |
| ９１７（延喜１７） | ？？？ |
| ８１７（弘仁８） | 2月： [新羅](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E7%BE%85)人33人、[帰化](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B8%B0%E5%8C%96)、4月：新羅人144人、帰化する |
| ７１７（養老元） | ・百姓の違法出家を禁じ、民間宗教活動の禁止・遣唐使出発　吉備真備、阿倍仲麻呂 |
| ６１７（推古２５） | この年、五穀登之（ミノレリ）「推古記」⇒　「五穀豊穣」は最大の関心事 |
| ５１７ | ？？？ |
| ４１７ | ？？？ |
| ３１７ | ？？？ |
| ２１７ | ？？？ |
| １１７ | ローマ皇帝ハドリアヌス　ユーフラテス以東を放棄　ローマ帝国領土最大　⇒　以後、帝国没落へ |
| １７ | ？？？ |

内外の些細なスキャンダル情報で、そちらへ目が行くが、

メディアは彼の意図を見極められていない。

トランプが目指す意図は、要約すれば、

1. 世界の「ヒト、モノ、カネ、トチ」を、米・中・露で分割する
2. 結果、２１世紀前半は、

トランプ、プーチン、習とそれら後継者に託され、

「三大王」つまり、「大王政治」の時代となり、

「反近代主義」へ進路を採る。

1. これを可能ならしめるのが、

各国のメディアも「体制派」「反体制派」の区別なく、

騒ぎ回っているうちに、意図せざる自滅的消滅。

世界の学者や評論家は「大王統治下」で保身に徹し、

その役目は、それ以前に消滅。

このゴールの前に、わがトランプが進める震源地米国では、

1. **経済**：米国経済のかさ上げ、具体的には、

ＮＹ証券取引所の「7 days a week, 24 hours a day,

365 (366) day a year」のオープン。

結果、他国の証券業界は、雪崩追従する。

たったこれだけで、最強の武器となる。

日本が、トランプより先手を採れば、最大の国益。

1. **外交**：国連からの脱退

**国連分担金（2014年実績）**

| **順位** | **国名　　　　　　　太字：常任理事国** | **人口（億人）** | **分担率　　（％）** |
| --- | --- | --- | --- |
| **１** | **アメリカ合衆国** | 3.17 | 22.0 |
| ２ | 日本 | 1.27 | 10.8 |
| ３ | ドイツ | 0.82 | 7.1 |
| ４ | **フランス** | 0.63 | 5.5 |
| ５ | **英国** | 0.62 | 5.1 |
| ６ | **中華人民共和国** | 13.84 | 5.1 |
| ７ | イタリア | 0.66 | 4.4 |
| ８ | カナダ | 0.34 | 2.9 |
| ９ | スペイン | 0.46 | 2.9 |
| １０ | ブラジル | 1.98 | 2.9 |
| １１ | **ロシア** | 1.45 | 2.4 |

国連常任理事国：上記５か国　１，４，５，６，１１

トランプは、拒否権発動常習の中・露に対して、

国連が無意味な会議を重ねることの大いなる不満。

日本もトランプに同調でき、チャンス到来。

1. **政治：**現行の米合衆国国憲法を廃し、

新しい米強国憲法を制定。つまり、

**The United States Constitutionから**

**Make America Great Again Constitutionへ。**

トランプは、従来から、他者や民衆を厳格に類別する。

Ａ型：能力があり、自分で考え・行動する

Ｂ型：他者の考え・行動を理解または批判する

Ｃ型：自己が定まらず、他者への対応・反応の能力もなし

トランプが目指すのは、とりあえず、

Ｂ型を催眠的にＣ型に合流させること。

彼がプーチンを尊敬するのも、

彼や中国政権が、この手法で成功をおさめているから。

彼の派手な言動やメディア批判は、惹き付け効果狙いの、

「エサまき」にすぎない。

やがて、騒ぐメディアも評論家も、

投げられる餌が多すぎて、拾い疲れはてて、

何のために騒いでいるのか判別不可となり、

気が付けば、Ｂ型の終焉となる。

ここで、米国の「自由主義」、

ロシア憲法の「人権と基本的自由、[自由権](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%87%AA%E7%94%B1%E6%A8%A9)と[社会権](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E6%A8%A9)の保障」、

中国の「一党独裁主義」が、「三大王政治」により変調を来たす。

米国は、「一国優先主義」、

ロシアは「ツアー復活の1916年以前に戻り」、

中国は「一党から一者独裁主義」へ。

2017年を軸に、世界史は「トランプ的転回（展開）」となり、

我々は、歴史的瞬間に位置する。

**面白い！**